

## 令和6年度障害学生支援実務者育成研修会(応用プログラム) カリキュラム

研修日	タイムスケジュール	時間	形式	プログラム名	目的
1日目 11/18 (月)	11:00-11:10	10	—	開会・趣旨説明	・オリエンテーション ・研修の全体の流れと各演習の目的と内容を理解する。
	11:10-11:20	10	報告	JASSO事業説明	・R5障害学生修学支援の実態調査結果等について概要説明
	11:20-12:30	70	演習	プログラム① 事前学習の補足 ウォームアップ:論点整理	・事前学習の補足等 ・班毎に自己紹介と情報共有を行い、グループワークの進め方を確認する。 ・メンバーの課題意識を共有し、今回の研修の論点と期待する成果について整理する。 ・活発な意見交換・情報交換が行える環境を整える。
	12:30-13:30	60	—	昼食休憩	—
	13:30-15:30	120	演習	プログラム② (演習1)授業に出席できない学生への支援計画考案	・支援計画を策定する能力を身に付ける。 ・精神障害等を理由として、授業に出席するのが困難な学生からの相談が増加しており、それらの学生から、オンライン授業の配慮を求められることが見受けられる。グループの中での意見交換を通じて、授業に出席できない学生への支援について、考えを深める。
	15:30-15:40	10	—	休憩	—
	15:40-17:40	120	演習	プログラム③ (演習2)建設的対話・ロールプレイ演習	・合理的配慮の依頼を受ける担当教員やニーズ表明する学生の立場を体感し、社会的障壁を除去するための建設的対話のあり方を考える。 ・教職員と学生の立場の構造上の相違性を理解して、建設的対話を行うためのあり方を身に付ける。 ・合理的配慮の構成要件や立場上の相違性を関係者にわかりやすく伝えるための、対話方法など対応スキルを身に付ける。
	17:40	—	—	事務連絡	—
	17:40-18:00	※任意で情報交換			
研修日	タイムスケジュール	時間	形式	プログラム名	目的
2日目 11/19 (火)	9:30-11:30	120	演習	プログラム④ (演習3)教育実習における合理的配慮の検討	・学外実習における合理的配慮は、実習先の特有の環境や活動内容、あるいは実習先との関係性等、学内とはまた異なる観点も踏まえて検討する。 ・車いす利用の学生による教育実習参加の仮想事例を通して、実習に向けての必要な準備や合理的配慮の考え方について、理解を深める。
	11:30-12:30	60	—	昼食休憩	—
	12:30-14:30	120	演習	プログラム⑤ (演習4)選択課題演習	・3つのテーマ「①学内連携/地域連携について」「②精神疾患のある学生に対する合理的配慮について」「③配慮としてのオンライン授業対応について」から選択をし、学校が直面している、障害学生支援の現状と課題について、情報共有を行い、グループワークを通じて課題解決のための方法論について理解を深めていく。
	14:30-14:40	10	—	休憩	—
	14:40-15:20	40	総括	プログラム⑥ 振り返り・まとめ	・本研修会の気づきについて、各人で話したい内容について自由に意見交換を行う。
	15:20-16:00	40	対談	協力者・ファシリテーター対談	・本研修会の講評を含めて合理的配慮の提供について対談をする。
	16:00	—	—	閉会	—